

# こども等の意見反映について

令和5年11月14日

県の進める子ども・子育て施策全般について、子ども・子育て会議の中で大学生7名から意見を伺った

## <子育てに対するイメージについて>

- ・子育てに対して最初に思い浮かぶイメージは、**親の負担**
- ・子育ては拘束時間が長く、**肉体的にも精神的にもすごい負担**
- ・私の周囲では経済的な面で、**本当に子どもを養っていいのかわからない**から、正直に言って子どもを産むか産まないか悩んでいるなど、不安要素を持っている人が多い
- ・私の周りには、どんな制度があってどんなお金がもらえるのかというのを知らない子がたくさんいる
- ・自分の親を見ていて、仕事は父親がやって、家事・育児は母親がやるというイメージがまだある
- ・精神的な負担というところでは、継続的に相談できる相手とか、匿名で自分の意見を相談できるネットワークとかチャット機能とかがあるとストレスも減ると思う

## <結婚に対するイメージについて>

- ・結婚を視野にいれていない人の中には、自分の時間が充実しているから、そうした生活を壊したくないと考える人もいる
- ・どちらかが働かないと生活はかなり苦しくなると感じているため、パートナーの選択によっては結婚できないと思っている
- ・**仕事と家庭内の家事の両立というのは男女平等に役割分担ができれば理想だと思うが、平等に役割分担できる自信がない**ため、全て自分で責任を持って生活した方が楽だと思っている。
- ・パートナーと意見が食い違って上手くいかないこともあるので、**今の時代は必ずしも結婚が幸せ、ゴールではない**
- ・結婚は幸せな家庭を築く、新たな自分のスタートではあると思うが、そこで失わなくてはならないものもある
- ・**結婚をして、子育てが始まると、仕事もあまりできないとか、自分の思っていた理想が築けなくなってしまうのではない**か
- ・結婚したくてもできない人がいるのは、出会いの場がないことが原因ではないかと思うが、自分には婚活イベントに参加する勇気はないので、婚活というよりは、山梨県の自然を活かした散歩であったり、フルーツ狩りであったりといった、もう少しハードルを下げた、気軽に参加ができる出会いの場や、コミュニケーションが取れるコミュニティのようなものがあるとよい

## <格差・貧困について>

- ・小学生の時に視覚障害をもった子と一緒に活動する機会があり、その活動の中で、障害があっても人とのつながりがあれば楽しく過ごすことが出来るのではないかという思いを持った。
- ・格差の解消には、人と人とのつながりの機会が重要だと思う
- ・私が感じる格差は、習い事ができる子とできない子がいたりとか、家族で旅行に行ったり行けなかったりする子がいるということ
- ・性別によっても偏見があり、女の人はこちら、男の人はこちらという風潮も格差の一つなのかなと感じている

## <都会との違いや山梨で働くことを選んでもらうことについて>

- ・山梨県は都会と違って自然が豊かで、別荘とか、山梨県の良さを活かした仕事もあると思う
- ・遊ぶところは都会の方が多いが、山梨県には山梨県の魅力があり、そうした魅力を都会の人などに伝えることが必要
- ・都会では人とのつながりが浅く広くなると思うが、山梨県では人との交流が深い仕事に就ける可能性が高い
- ・都会は相応の遊び場とか娯楽施設が充実している
- ・様々な趣味を持った人が集まる大きなイベントが、近くで開催されると山梨が魅力的になると思う
- ・山梨で友達と遊ぶとなるとご飯を食べに行くか、自然を見に行くかの二択になってしまう
- ・山梨は遅れているというイメージが若者の中にある
- ・育児休業がちゃんと取れるとか、育児休業をとってもその後のキャリアに影響しないとか、そうした体制を整えて、山梨だからこその何かを売り出していいと良い
- ・山梨県と都市部の間で感じる差は選択肢の多さ
- ・山梨イコール車がないと生きていけないというのがみんなの印象なので、もう少し交通の便が良いと思う
- ・自分も子どもができたときに、安心して仕事に行けるように、入りたい園に絶対入れるようにしてくれたら嬉しい

# こども等の意見反映について

令和5年11月27日

「**幸福な生活を送るために必要なこと**」について、小学生から大学生まで24名から、グループにわかれ意見を伺った。

## <自由・余裕>

- ・やりたいイベントを予算がなくてできなかった
- ・子どもを育てる仕事の給料を上げてもらいたい
- ・やりたいことができるお金や時間、一緒にやる友達が必要
- ・時間は大事、場所も大事
- ・やりたいことを制限されるのではなく、やりたいことをできる
- ・サッカーをやる、スポーツをやる、スイッチをやる
- ・温泉に入る
- ・誕生日に何かを買ってもらう
- ・好きなものを食べる
- ・先生が何もしていないのに怒る
- ・先生が自分で勝手にルールをつくってる
- ・話を聞いてくれる先生がいい
- ・大人の権力で子どものやりたいことがねじ伏せられてしまう

## <安全・安心>

- ・笑顔でいること
- ・10年後も自分の育った地域があるかわからない
- ・未来に向かうと働く場所が減ってしまいそうで不安
- ・災害が起きたときに山に囲まれているので孤立しそうで不安
- ・暴走族の取り締まり
- ・今まで住んでいたから安心する
- ・世界平和

## <自己実現>

- ・学びたいことを学校の授業でやってくれると良い
- ・自分の好きなことを発信できる
- ・やりたいことができるシステム、人とのつながり
- ・気軽につぶやける場所があると良いかもしれない
- ・いろいろなことを経験できる機会があると良い
- ・部活とか試合で勝つ
- ・努力が報われる
- ・大人が提案して子どもに伝わることは多いが、子どもから提案して偉い人につながることはあまりない

## <人間関係>

- ・相談ができる、悩みを話せる
- ・自分の気持ちをしっかり伝え、他の人がその気持ちを否定するのではなく受け入れてくれる
- ・信じ合う心があると他人と違うところを見せられる
- ・所属できる安心
- ・相手を思いやる気持ち
- ・対立していると幸せになれない
- ・自分と同じことを好きだったりすると好感をもつ
- ・信頼できる人がいる
- ・学校でみんなとワイワイしていると安心できる
- ・肩車をしてもらう、ハグする
- ・一緒に遊んでもらう

## <生活環境>

- ・子どもが安心して遊べる公園
- ・遊べる場所が少ない
- ・楽しめる施設が少ない
- ・東京に行くときワクワクする
- ・山梨は車がないと生活できないけど駐車場が少ない
- ・公共交通機関も使いにくい
- ・目に障害があり免許が取れないため山梨での生活は厳しい
- ・自転車も段差が多くて乗りにくい
- ・バス停から家までが遠い

## <存在意義・承認>

- ・自分の存在意義、役割がある
- ・人の役に立つ
- ・自分の存在が認められている
- ・自分の価値を見いだせること
- ・人に認められること
- ・人と比較しないところに幸福の価値を置く
- ・自分の好きなことを否定されない
- ・友達がほめてくれる